学校関係者評価結果報告書
（２０２４年度）

専門学校太田自動車大学校

目次（評価項目一覧）

１　教育理念、目標

・学校の理念、目的、また育成人材像は定められているか
・学校における職業教育の特色は何か
・社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか
・学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者に周知されているか
・学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

２　学校運営

・目的等に沿った教育方針が策定されているか
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか
・運営組織や意思決定機能は規則等に明確化されているか、有効に機能しているか
・人事、給与に関する規定は整備されているか
・教務、財務等の組織整備など意思決定のシステムは整備されているか
・業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

３　教育活動

・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発等が実施されているか
・関連分野の企業、関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
・関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
・授業評価の実施、評価体制はあるか
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
・成績評価、単位認定、進級、卒業判定基準は明確になっているか
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
・関連分野における企業等との連携において優れた教員を確保する等マネジメントが行わ

れているか
・関連分野における先端的な知識、技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取り組みが行われているか
・職員の能力開発のための研修が行われているか

４　学修成果
・就職率の向上が図られているか
・資格取得率の向上が図られているか
・退学率の低減が図られているか
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

５　学生支援
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか
・学生相談に関する体制は整備されているか
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
・課外活動に対する支援体制は整備されているか
・学生の生活環境への支援は行われているか
・保護者と適切に連携しているか
・卒業生への支援体制はあるか
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
・高校、高等専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか

６　教育環境
・施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
・防災に対する体制は整備されているか

７　学生の受入れ募集
・学生募集活動は適正に行われているか
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
・学納金は妥当なものとなっているか

８　財務

・中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか

・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

・財務については会計監査が適正に行われているか

・財務情報公開の体制整備はできているか

９　法令等の遵守

・法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

・個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか

・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

・自己評価結果を公開しているか

１０　社会貢献、地域貢献

・学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか

・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

・地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

１　教育理念、目標

（１）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　学校の理念、目的、また育成人材像は定められているか	4	4
②　学校における職業教育の特色は何か	4	4
③　社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
④　学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者に周知されているか	4	4
⑤　学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	4

（２）現状

・当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ人材育成を行っている。また、企業と連携を深めることで、業界のニーズに向けた教育の実現に取り組んでいる。

【教育理念】

高い専門技術を修得することに喜びを感じ、生き生きと自ら求めて学ぶ学生の育成を行う。また、豊かな心を磨き高い技術と合わせ社会に貢献できる人材の育成を行うことで学生一人一人が豊かな人生を歩むことが出来る教育を行う。

【教育目標】

豊かな人間性と知性、感性を備え２１世紀をリードする有為な人材を育成する。

当校の教育の特色として以下の点が挙げられる。

１　徹底した整備士試験対策による整備士資格取得、一人に１台（基）の実技試験による技術力修得を実施している。

２　卒業後の進路選択に備えて、専門分野の資格取得に対するためのカリキュラムを整備している。

３　豊かな人間性を養うために、各種学校行事、特別授業などを実施している。

（３）課題と改善策

二級整備士取得率１５年連続１００％、一級整備士、車体整備士については６年連続合格率１００％を達成した。

テキスト及び整備士技能登録試験の出題傾向に準拠した授業運営により、最先端の技術を教えるということがなかなか難しい。メーカー、ディーラーなどとの連携授業によりその点をカバーしていきたい。

ここ数年の入学者の状況としては、精神年齢が幼く、集中力が続かない学生が多くなり、その学生に対する学習効果を向上させる工夫が必要である。

２　学校運営

（１）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　目的等に沿った教育方針が策定されているか	4	4
②　運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
③　運営組織や意思決定機能は規則的に明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
④　人事、給与に関する規定は整備されているか	4	4
⑤　教務、財務等の組織整備など意思決定のシステムは整備されているか	4	4
⑥　業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
⑦　教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
⑧　情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4

（２）現状

・運営方針は適宜管理職が打ち合わせを持ち、長期、短期の方針を決定、全教職員に周知される。

・学校の運営については、学則及び細則などによって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。

・教務、財務等の組織整備など、全体の重要事項については、理事会・評議員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意思決定がなされている。

・校内においては管理職、学年、学科会議を定期的に開催し、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織として意思決定を効率的に行っている。

・人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。

・給与明細についてはWebで確認できるシステムが整備された。

・教育活動等については当校のWebサイト等により情報公開に務めている。

・情報システムとしては、学籍管理システムやネットワークシステムを利用したデータの共有、マークシートリーダーを使用した採点システムなどで効率的に運用されている。

・基幹データの一部クラウド上への移行を行った。教職員は十分に使いこなせている。

（３）課題と改善策

教務の効率化を行い、教育以外に費やす時間を削減して、教育活動を行う時間の割合を増加させるべく、業務効率化を進めていきたい。

３　教育活動

（１）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方策などが策定されているか	4	4
②　教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
③　学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
④　キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発等が実施されているか	4	4
⑤　関連分野の企業、関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4	4
⑥　関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4	4
⑦　授業評価の実施、評価体制はあるか	4	4
⑧　職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
⑨　成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
⑩　資格取得等に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
⑪　人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4	4
⑫　関連分野における企業等との連携において優れた教員を確保する等マネジメントが行われているか	3	3
⑬　関連分野における先端的な知識、技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	4
⑭　職員の能力開発のための研修が行われているか	4	4

（２）現状

・教育課程の編成、実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科長、学年主任を中心に検討、教務部長の確認後、学校長の承認を受け策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。

・実践的な職業教育として、企業と連携した現場に近い整備実習を体験させることで、即戦力育成に取り組んでいる。

・授業評価については、前期、後期の各期末に学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。

・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確に定められており、入学ガイダンス時に配布しており、学生に周知されている。

・資格取得支援については特に整備士技能登録試験に主軸を置き、全体統括、各級主担当者を定め組織的に取り組めている。

・教職員の資質向上については、校内で独自に制作した「教職員必携」を利用し、学校教職員として必要となる考え方や学生指導の方法等について研修を入社時に行っている。また適宜整備士講習、整備主任者研修など専門的な研修を受講させ知識、技術の向上を目指している。教員は全て１級整備士を取得済みである。また、各自が技術力向上のための取り組みを行っている。

（３）課題と改善策

二級総合養成開始に向けて、これまでのカリキュラムのスクラップアンドビルドを行った。令和７年度養成開始後にそのカリキュラムをさらに熟成させていきたい。

４　学修成果

（１）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３ やや　　不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　就職率の向上が図られているか	4	4
②　資格取得率の向上が図られているか	4	4
③　退学率の低減が図られているか	4	4
④　卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
⑤　卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4

（２）現状

・学内企業説明会をはじめ、各種就職行事を実施し、開校以来就職内定率１００％を達成している。

・各種資格取得の講習会を実施。整備士技能登録試験についても一定の成果があがっているものと考えられる。

・欠席者については、自宅への連絡、早期三者面談などを指示し対応しており、学生の生活上の諸問題などについても家庭と共有することで、退学率の低減に努めている。

・卒業生とメールや SNS でコミュニケーションをとれるように、環境を構築した。

（３）課題と改善策

・整備士不足の背景から、順調に就職内定をしていくが、学生の就労に向けた目的意識は低く、改善が必要である。

５　学生支援

（１）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
②　学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
③　学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
④　学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
⑤　課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	3
⑥　学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
⑦　保護者と適切に連携しているか	4	4
⑧　卒業生への支援体制はあるか	4	4
⑨　社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4
⑩　高校、高等専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか	4	4

（２）現状

・進路、就職相談については、入学から卒業まで時系列に二者面談、企業研究、先輩との懇談会、学内企業説明会など指導を行っている。

・経済的支援については、特待生制度、納付金の分納制度、無料スクールバス、自動車ディーラーの奨学金制度等を設けている。また、事務局に相談窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。

・平成２６年度から定期的なスクールカウンセラーの運用を実施。定期的な面談など学生の精神面への支援対策を行っている。

・課外活動については、幅広い内容を実施する特別授業、一定条件を満たした学生グループの活動について、学校公認のクラブ活動と認定し、活動費の補助等の支援体制は整備されている。

・入学時に保護者説明会を開催している。希望者には担任との三者面談を実施し、保護者との連携を図っている。

・卒業生に対しては入社後の各種資格のバックアップなどを行っている。

・訓練給付金対象校となり、社会人入学者への経済的な負担減が行えるようになった。

（３）課題と改善策

物価高騰の影響を受け、家庭の負担を抑えるべく、教材費の捻出を抑えるために、行事内容の見直しなどを行ってきたが、この取り組みを継続しないと、教材費を現状の金額に抑えることが厳しい状況である。

６　教育環境

（１）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
②　学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3
③　防災に対する体制は整備されているか	4	4

（２）現状

・国土交通省指定基準を満たす車両、エンジン、実習場を有し、各実習授業はもちろん、一人に１台（基）での実技試験（１，２年生)、原則一人に１台（基)（３，４年生）での実習展開が行えている。

・４年生のインターンシップは実施できたが、姉妹校と合同の海外研修旅行は実施できなかった。ただし、姉妹校との合同の国内旅行は実施できた。

（３）課題と改善策

教材、施設設備は魅力的なものがあり、これを有効に活用する努力を継続する必要がある。

７　学生の受入れ募集

（１）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　学生募集活動は適正に行われているか	3	3
②　学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	3
③　学納金は妥当なものとなっているか	4	4

（２）現状

・学生募集については、パンフレット及び学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また４月から９月に体験入学、１０月から３月に学校説明会を開催している。
体験入学では授業体験をするなどして当校に対する理解を深めてもらっている。

・卒業生の進路状況や各種資格取得、整備士技能登録試験合格率などの教育成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。

・入学者数については微増を果たせたが、入学者の確保が本校の大きな課題である。

（３）課題と改善策

進路ガイダンスなど対応した教職員の人柄や工夫をこなした体験入学の内容で、体験入学に参加してもらい、充実した施設・設備・教材を見てもらうように工夫をしたが、新型コロナ禍の状況で、感染症防止対策なども徹底をする必要があった。

近隣の競合校が、外国人留学生の受け入れに頼り、結果として学生数減の現状であるが、本校については、出願数を昨年度同数とすることができた。留学生の受け入れについては、その要件などを厳格に行っている関係もあり、２０２５年度入学者の内留学生の人数は０名であった。

専門学校として、教育の充実はもちろん重要な要素ではありますが、学校の存続のためにも、募集活動の充実は重要な要素であると考えられる。

８　財務

（１）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	4	4
②　予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
③　財務については会計監査が適正に行われているか	4	4
④　財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

（２）現状

・本法人は異なる専門分野を教育する３校を同じキャンパスで運営しており、その相乗効果で北関東、信越、東北地域から学生が幅広く集まっている。法人設立から２０年以上が経過し、施設設備や教育環境も整い、学校の知名度や教育に対する評価も高まっている。現在では学費等収入は安定し、学校運営に十分な状況であり、有利子負債の比率もかなり低い水準で推移している。少子化というリスクは常に存在するが、中長期的に財務基盤は安定していると判断している。

・予算、収支計画は年度開始前に各担当からの積み上げ方式を基礎として法人本部で原案を作成し、評議員会の審議承認を得た後に、理事会の決議により決定している。予算、収支計画は期中において月次決算毎に予算実績管理を行い、その執行状況と予算差異を把握し、経営判断に必要な報告がなされている。

・財務については顧問契約により公認会計士が期中監査として２回、決算監査として１回の会計監査を実施している。前期は経営及び財政状態について適正意見を記載した「独立監査人の監査報告書」を受領している。

・財務情報の公開を実施する体制は常に整備している。現状は法的な義務として官公庁その他の関係各所に公開しているが、外部の第三者への公開は行っていない。ホームページ等で広く一般の人向けに公開する必要が生じた場合には、公開する財務情報の内容及び範囲等を慎重に判断したうえで実施する方針である。

・新校舎の施設設備、教材、車両などは本校の規模の自動車大学校単科では導入は困難なものであった。３校ある太田アカデミーだからこそ教育環境の充実が行えている。

（３）課題と改善策

特になし。

９　法令等の遵守

（１）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
②　個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4	4
③　自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
④　自己評価結果を公開しているか	4	4

（２）現状

・法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は総務部が連携して行っている。また、所轄官庁からの通知についても同様に通知され、教職員に周知されている。

・個人情報の保護に関する規則は明文化されている。職員に対しては「秘密情報保持規約書」を締結、個人情報について厳重に扱っている。また個人情報の利用や保持については顧問弁護士の指導のもと適切に取り扱われている。

・新規導入の車体整備関係の内容についても、法令を遵守し、点検、主任者の専任など専門家にアドバイスをもらい実施している。

・学校内で自己評価を実施しており、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成２７年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。

・本報告書については、当校の Web サイトに掲載して広く公開している。

（３）課題と改善策

法令で必要とされる点検、測定、調整、校正及び国土交通省指定養成施設としての運用は、法令遵守で行っており、今後も継続するべきである。

１０　社会貢献、地域貢献

（1）採点 適切・・４　　ほぼ適切・・３　　やや不適切・・２　　不適切・・１

評価項目	評価	昨年度
①　学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか。	4	4
②　学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
③　地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3	3

（2）現状

・地域住民からの応援要請（自動車関係のトラブルなど）には、積極的に応じている。

・ボランティアについては、校舎近隣の清掃活動などを行っている。

・地域に対する公開講座、教育訓練の受託については、前々から検討はしているが、整備という特殊性から実行に移せていない。

・群馬県及び栃木県の自動車整備講習所へ講師派遣を行い社会人向けに本校の受験対策ノウハウを提供し、整備人材確保に協力をしている。

・ドイツ商工会議所の教育システムへの連携準備を行った。

（3）課題と改善策

公開講座、教育訓練について引き続き検討を行い、実施できるようにしていきたい。

ドイツ商工会議所との教育連携については小さくスタートし、大きく育てている取り組みとしたい。